

(122)

宮城学院女子大学発達科学研究  
2019. 19. 122-131スウェーデン教育セミナー 2018 in 仙台 開催報告 (1)  
～日瑞の大学教育を比較し、将来展望を共有する～西 浦 和 樹<sup>1</sup>

2018年は日本とスウェーデン（瑞典）の国交樹立150周年の年に当たります。発達臨床学科（教育学科）が実施してきたスウェーデンでの海外研修の実施に当たり、エリザベート・ニルソン知事（エステルヨートランド県）には、多大なご協力とご支援をいただきました。

そのニルソン知事訪問団（11名）が2018年3月20日～23日に宮城県に滞在されることになりました。

今回の機会に合わせて、「スウェーデン教育セミナー 2018 in 仙台」として、2日にわたって教育イベントを開催し、今後150年に向けた日瑞の教育交流と両国の持続的な発展を目指すこととなりました。

今回の鳴子温泉での宿泊は「宿みやま」、仙台での宿泊は「メトロポリタン仙台イースト」にお世話になりました。また、セミナーの開催に当たって、西浦和樹（実行委員長）、熊坂聡（副実行委員長）、松本晴子（副実行委員長）として、平川学長先生、佐々木副学長先生、戸野塚副学長先生ほか教職員のバックアップで無事終了しました。通訳は、川崎一彦（東海大学名誉教授）、北野陽子さん、野田麻衣子さんをお願いしました。

今回のセミナー開催の意味を考えてみたいと思います。

昨今、何かのプロジェクトの実施に当たって、費用対効果の説明を求められることがあります。この適用範囲は、ルーチンワーク可能で、時給換算可能なワークに対して有効です。

しかし、今回のスウェーデン訪問団受け入れのプロジェクトについて、2014年から2015年にかけてイケア・ジャパンとコラボした「東日本子どもプロジェクト」で、21名の保育士をスウェー

デンにお連れして以来、今回のエステルヨートランド県訪問団の受け入れは、5年の歳月をかけて実現しました。

先の短期的な効果の議論と、中長期の波及効果の議論とは全く別ものです。川崎先生とシェパンスキー所長との出会いにまで遡れば、足掛け10年の教育研究プロジェクトです。

これらを念頭に入れて、イケアからいただいたミッション（プロジェクト）で掲げていた目的を自分なりに評価、総括してみます。

- (1) 東日本大震災に起因する被災地域の保育ニーズへの対応  
仙台市保育巡回相談・・・保育園と大学教員が連携して保護者支援に取り組むことができた。
- (2) 長期的な保育方法・技術の向上  
アウトドア教育・・・現場の保育士が北欧のアウトドア教育の方法を学ぶ機会を提供できた。
- (3) 日本と北欧諸国の異文化交流  
リンショーピング大学の教育研究・・・今回の受け入れで、学生が生のアウトドア教育とノーベル賞級の情報の視覚化技術の教育研究に触れ、学生が国際感覚を身につける機会を提供できた。
- (4) 次世代の指導者育成機会の創出  
スウェーデン幼児児童教育研修・・・4月からヘルシンボリ市のプリスクールで働く学生が出始めた。

## ●中長期の波及効果

- (1) 先端的な研究に基づく授業と保育実践を視察することで視野を広げる助けを得ること  
→成果：エステルヨートランド県訪問団の来日と仙台でのスウェーデン教育セミナーの開

1. 宮城学院女子大学教授

催 (起点となったアウトドア教育、ノーベル賞級の最先端イメージング技術、スウェーデンの男女平等と女性活躍)

研修参加者の個別には、「自分の娘がドイツに海外留学することになった」「宮城県の保育について園長レベルでざっくばらんに集まって話合える機会が持てるようになった」「アウトドア教育を意識した保育を行っている」「アウトドア教育を意識した園庭を造った」「森の幼稚園で北欧のアウトドア教育を取り入れている」「アウトドア教育の考え方を取り入れた幼保連携型認定こども園、森のこども園を造った」ということなどが一例です。

- (2) 「持続可能な開発のための教育」推進の観点から、保育の質向上に関する将来像を描くこと  
→成果物：「みんなの教育 スウェーデンの人を育てる国家戦略 (2018年3月、ミツイバブリッシング)」

なお、本セミナーに関して、3月21日は142名、3月22日は80名を超える方々に、ご協力・ご参加いただきました。ここに記して感謝申し上げます。

## スウェーデン教育セミナー（第1日）

## 開催プログラム

Inside Sweden: Educational Seminar 2018 in Sendai

■日時：2018年3月21日（水・祝）

第一部15:00～17:40、第二部18:00～20:00

■場所：勝山館（宮城県仙台市青葉区上杉2-1-50）

主催：宮城学院女子大学

協力：スウェーデン大使館、宮城県グリーン  
ツーリズム研究会、尚絅学院大学など後援：宮城県、仙台市、宮城県教育委員会、  
仙台市教育委員会、河北新報社、  
NHK仙台放送局など

## 第一部：スウェーデン教育セミナー

司会・進行：西浦和樹（宮城学院女子大学教授）

通訳：北野陽子（地域活性プロデュー  
サー・英語コーチ）野田麻衣子（フェニックスイング  
リッシュスクール代表）●15:00～17:40 「日瑞の大学教育を比較し、将  
来展望を共有する」前半：the first half from Sweden（スウェーデ  
ンの大学教育）

●15:00～15:05 趣旨説明

●15:05～15:25 「ようこそスウェーデンへ（開  
会宣言）」

（スウェーデンの政治、経済、文化、教育、福祉）

●15:25～15:45 「エステルヨーランド県の  
ツーリズム」エリザベート・ニルソン氏（エステルヨー  
ランド県知事）●15:45～16:05 「リンショーピング大学の教育  
と大学教育の在り方」エンゲルマルク課長（リンショーピング大学  
国際交流課）●16:05～16:25 視覚科学の最新ツールのデモ  
ンストレーションイーネマン教授（Director Norrköping Visuali-  
zation Center）

●16:25～16:45 スウェーデンのアウトドア教育

シェパンスキー教授（リンショーピング大学）

（16:45-17:00 休憩（Fika））

後半：the second half from Japan（日本の大学教育）

●17:00～17:20 「日本の女子教育と宮城学院の  
歴史」

平川新（宮城学院女子大学 学長）

●17:20～17:40 ディスカッション（まとめ）：  
スウェーデンと日本の大学教育の比較、これ  
からの大学教育の在り方

川崎一彦（東海大学名誉教授）

第二部：「ウェルカム・パーティー（スウェーデ  
ン教育セミナー懇親会）」

18:00～20:00

展示協力：エステルヨーランド県の「食」

（エステルヨーランド県）

ハンドクラフトの紹介（Ms Ulla-Karin Hellsten,  
Östergötlands Ullspinneri）

乳幼児見守りセンサーの紹介（プラニス社）

## ようこそスウェーデンへ（開会宣言）



スウェーデン大使館公使参事官  
ヴィクトリア・フォシュルンド  
＝ベラス

スウェーデンの教育に注目して  
頂けるのはうれしいことです。

スウェーデンは教育に力を入れています。教育費の対GDP（国内総生産）比は約八パーセントで、世界のトップ水準にあります。今日の知識社会では教育を優先することで国際競争力を維持できるという考えです。

具体的な教育制度は極めて分権化されています。地域、学校、個別の先生の裁量権が大きく、生徒

に考えさせる工夫がなされた教育が行われています。

- 就学前からの起業家精神教育
- アウトドア教育とアクティブ・ラーニング
- 幅広いインクルーシブ教育
- 投票率85%の国の主権者教育
- 人生100年時代のリカレント教育と生涯学習

スウェーデンの教育も日本の教育もそれぞれの良さがあります。スウェーデンと日本の外交関係樹立150周年という記念すべき年に、両国がより良い教育について意見交換することは極めて有意義でしょう。

今回のスウェーデン教育セミナーが有意義なものになることを期待しています。

## スウェーデンの政治、経済、文化、教育、福祉について

|      | 項目                           | 日本                       | スウェーデン                         |
|------|------------------------------|--------------------------|--------------------------------|
| 基本情報 | 面積                           | 約38万km <sup>2</sup>      | 約45万km <sup>2</sup> （日本の約1.2倍） |
|      | 首都                           | 東京                       | ストックホルム                        |
|      | 公用語                          | 日本語                      | スウェーデン語<br>※英語力は非常に高い          |
|      | 国家の形態                        | 象徴天皇制・議会民主制              | 立憲君主制・議会民主制                    |
|      | 議会                           | 両院制<br>衆議院475議席、参議院242議席 | 一院制349議席                       |
| 人口   | 人口（188か国、2015年）              | 1億2698万人（10位）            | 985万人（85位）                     |
|      | 平均寿命（188か国、2014年）            | 83.6歳（2位）                | 82.0歳（15位）                     |
|      | 合計特殊出生率（188か国、2014年）         | 1.42人（172位）              | 1.89人（126位）                    |
| 教育   | 教育体制                         | 6-3-3（6歳～15歳）            | 6-3-3（7歳～16歳）                  |
|      | 人的資本指数（130か国、2016年）          | 83.44（4位）                | 83.29（5位）<br>※フィンランド（1位）       |
| 経済   | 一人当たりの名目GDP（US）（188か国、2015年） | 32,478.90（26位）           | 50,049.82（12位）                 |
|      | 経済成長率（189ヶ国、2015年）           | 0.539%（160位）             | 4.188%（53位）                    |
|      | 失業率（107か国、2015年）             | 3.37%（96位）               | 7.40%（50位）                     |
| 貿易   | 主要貿易品目（輸出）                   | 自動車、化学品、金属品              | 機械類、電気通信機器、自動車                 |
|      | 主要貿易品目（輸入）                   | 機械機器、鉱物性燃料、食料品           | 電気通信機器、自動車、機械類                 |
| 社会   | 男女平等度（144か国、2016年）（指数）       | 0.660（111位）              | 0.815（4位）                      |
|      | 国際競争力（138か国、2016年）（指数）       | 5.481（8位）                | 5.530（6位）<br>※スイス（1位）          |
|      | 観光競争力（141か国、2015年）（指数）       | 4.938（9位）                | 4.454（23位）<br>※スペイン（1位）        |

※スウェーデン大使館（<http://www.swedenabroad.com/ja-JP/Embassies/Tokyo/>）

### ●政治体制（移民政策、女性議員、地方分権）

2014年9月の総選挙では、2期8年にわたり政権を務めた中道右派連合（穏健党、自由党、中央党、キリスト教民主党）が敗北し、社民党及び環境党による少数左派政権（総議席数349議席中、連立政権138議席）が成立。移民規制強化を主張するスウェーデン民主党が国会第三政党へと躍進（20→49議席）。2015年の欧州難民危機により16万5千人の難民が庇護を申請。2018年の総選挙へ向けて、難民・移民の生活立ち上げ、教育、労働市場への参画促進などの政治課題への対応が注目される。

国政、地方を問わず、女性議員が約半数を占める状況が大きく日本と異なる。また、国から地方への権限移譲が進んでおり、県（ランスティング）単位では「医療」「交通」、市（コミューン）単位では「教育」「福祉」といった役割が明確になっている。

### ●経済関係（貿易、住宅）

日瑞貿易について、対日輸入は「輸送用機器」「電気機器」「一般機械」、対日輸出は「医薬品」「一般機械」「木材及びコルク」となっている。日本の投資による日系企業数は約114社。情報通信（IT）や医薬品などの高付加価値分野を中心に、スウェーデンの高い技術力に着目した企業間提携や企業買収などのビジネスの動きがみられる。「すし」以外の和食を中心とした食産業の進出はほとんどない。一方、スウェーデンの対日投資は、「IKEA」を中心に、2017年6月には通信機器大手「エリクソン」が仙台市東口への進出を予定するなど、日本への製品輸出の販売網形成の目的が多い。

住宅について、人口増による住宅不足が続いており、住宅バブルの状態が続いている（UBSグローバル不動産バブル指数世界第3位）。住宅金利もマイナス0.5%に据え置きと共に、量的緩和を2017年6月まで継続することを決定している。実際に、ストックホルム市内では、日本大使館職員が賃貸住宅を借りるにも2年待ち（その間、ホ

テル住まい）という状況。地方都市のモタラ市は、人口が毎年320人の人口増に対応すべく、賃貸住宅を建築し、対応している。

### ●文化関係（文化、観光）

世界一美しい首都ストックホルムには、中世の街並みが残る旧市街のガムラスタンやおしゃれなデザインショップがあるエステルマルム、フィーカ（お茶）のできるオシャレなカフェなど見どころがたくさんある。また、スウェーデン北部に広がる大自然、ベッテルン湖周辺の自転車レース、ヨータ運河の横断など、夏休み期間（6月上旬から9月下旬）、スキー休暇（2月下旬の1週間）といった長期休暇を活かしたアウトドア活動が盛んに行われる。

茶道、華道、日本文学（特に俳句）などの伝統的文化、武道などに対する関心が高い。また、アニメやマンガなどのポップカルチャーや日本食に対する関心が高まっている。日本への観光客数も2009年以降の統計をみると、2012年には震災前の水準を上回る3万人を達成し、2016年には約49,624人のスウェーデン人観光客が日本を訪れた。

### ●教育関係（教育、子育て）

スウェーデンの学校教育は、1歳から5歳までの就学前教育（プリスクール）、6歳のプリスクールクラス、7-16歳の小・中学校（1年生から9年生）、16-19歳の高等学校、大学、大学院教育が行われている。公立と私立の給与面で差がなく、保育士不足も手伝って保育教諭の初任給は高水準（例えば、モタラ市で月給30万円から）となっている。

子育て環境は、子どもの権利が保障されるように手厚くなっている。教育費は無料、父親も母親も育児休暇が義務付けられている両親休暇は480日（その間、給与の80%保障、よって0歳児は家庭で育児）、医療費は18歳以下が無料となっており、子育てに関して経済的負担がかからない仕組みとなっている。

スウェーデンの幼児教育は、2016年度4月から

実施された新しい子育て支援制度（幼保一体化、施設給付金など）と同様の仕組みが1998年に既に整備されていたことから、日本からみてスウェーデンは子育て先進国と考えてよいだろう。教育内容については、「アウトドア教育」のような特色ある教育、例えば、幼児期の科学教育（STEM教育：Science, Technology, Engineering, Mathematics）が実践されている。また北欧ではチャレンジ精神や自己肯定感を高める「起業家精神教育」というモチベーション教育の手法が取り入れられ、自ら学び、課題を自己解決することのできる人材の育成につながっている。

### ●福祉関係（高齢者福祉、障害者福祉、社会保障）

スウェーデンの福祉政策は、高負担高福祉として知られている。スウェーデンの介護政策は、従来、機能別の施設（医療）で行われていたが、1992年のエーデル改革後（社会的入院の解消と高齢者の生活の質の向上）は市にサービスが一元化され、在宅（社会サービス）を中心としたサービスに移行した。医療と介護の責任の所在が県（ランスタング）と市（コミュニティ）で明確に分かれていることが日本と大きく違う。

高齢者福祉について、市（コミュニティ）がその役割を担い、高齢者を介護する責任があると法律（社会福祉法、1956年）で定められている。実際、高齢者住宅では、入居者の生活の質を向上させるために、個別の対応が可能となるような人物中心のケア、親族の要望に対応するための親族支援プロジェクトが行われていた。その働き手は、看護師や社会福祉士が所長となり、移民を多く雇用し、准看護師や補助スタッフとして介護にあたる仕組みがとられていた。

スウェーデンの障害者福祉は、1960年代から始まったノーマライゼーションの原理に基づいて、1980年代後半から障害者の施設が解体された。そして、スウェーデンに特徴的なPA（パーソナルアシスタント：本人の手足の代わりとなる個人専属の介助者）の制度によって、障害者が自立した生活を手に入れることができるようになったと

言われている。1994年からPAは国の制度になり、障害者1人当たり4人のPAを雇用することができる。障害者2万人に対して、8万人のPAの雇用を生み出し、国の税収となる仕組みが取られている。

なお、高負担高福祉を支える財源は、所得の多少にかかわらず約30%の地方税、さらに25%の消費税である。しかし、食料品などの日用品は軽減税率12%が適用されている。ここ最近では、福祉の財源確保が厳しい状況が続いており、高福祉を支える福祉関連予算のチェックも厳しくなっている。

以上

参考資料：

● スウェーデン百科事典：北欧の元気な国スウェーデンに学ぼう  
<http://www.hilife.or.jp/sweden2/>

● 「エリクソン仙台に拠点」(河北新報、2017年3月2日)  
[http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201703/20170302\\_12040.html](http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201703/20170302_12040.html)

エステルヨートランド県のツーリズム



Welcome to Östergötland - a county of contrasts



## Where we are



### Quick facts:

- 13 municipalities
- 456,000 inhabitants
- Area: 10, 562 km<sup>2</sup>
- 39 inhabitants per km<sup>2</sup>
  
- Fourth largest urban region in Sweden
- Twin cities of Linköping & Norrköping



## ● ÖSTGÖTATEXTIL とは、「分かち合うこと」

スウェーデン—日本国交樹立150周年は、私たちに「分かち合い」の意味を思い起こさせてくれます。会合でも、経験でも、商取引においても、どうすればお互いにとって益である状況にすることができるか、にいつも私たちは心を砕いています。そこを気遣うことで、私たちは新しい文化をより理解することができると考えています。そしてそれによって自分たちのことももっと知ることができ、自分たちの文化をより豊かなものにしてくれます。もちろん今回の日本への訪問もさることながら、それはどのようなコミュニケーションにおいても本質的なことかと思えます。

ÖSTGÖTATEXTIL も、「分かち合い」に関係しています。メンバーはそれぞれ自分たちの会社を経営しており、それぞれのクライアントがいます。デザイン、製造、ハンドクラフトのそれぞれの工程で職人がいます。彼らによって作られた独自の商品は、メンバーの店か小売店で手に入れることができます。また小ロットの発注にも対応ができます。

メンバーはみんなで何世代も前から伝わるテキスタイルの伝統の深い知識を擁しており、それが将来の世代への発展に繋がります。それにまつわって我々の地方でかつて特別であった毛や麻といった材料に注目したいと考えています。私たちの展示の名前もこのことに由来しています。文化、環境、天候、基本のニーズ、一年を通じた喜びが四季にメタファーとして現れているのを見ていただくことができます。ÖSTGÖTATEXTIL に皆が集うことは、我々が共存することへの努力とテキスタイル文化への高まる関心の基盤となるでしょう。

私たちのこのネットワークの目的は

- 様々な種類のイベントやワークショップ、展示会、そして共同のウェブサイトを通じてマーケティング上の協力をすること
- テキスタイルに対する知識を高めること。顧客を得るにはテキスタイルの知識、材質や品質、伝統や技術、インスピレーションが必要

です。今日は特に気候や環境への配慮も大切です。

- Östergötland 県への訪問者を増やすこと。テキスタイルの展示はいつもたくさんの観客を魅了します。このネットワークが、旅行代理店に加えて店舗や工場、スタジオなど、この地域へのツアーをアレンジします。

ÖSTGÖTATEXTIL は、メンバーがお互いを支え、経験を分かち合うための親しみやすい場所を作るようなルールも備えています。

## リンショーピング大学の教育研究

### ■ リンショーピング大学の教育と大学教育の在り方 リンショーピング大学

マリア・アングルマルク 課長

(リンショーピング大学国際交流課)

Ms. Maria Engelmarm, Director International Affairs

リンショーピング大学 (Linköping University: LiU) は、医学、教育学、経済学、工学の分野の専門職学位課程を有するスウェーデンでも規模の大きな大学の一つです。創立以来、LiU は、革新的な教育と研究を実践してきました。しかも、学際的なテーマ研究、問題解決学習、革新的な研究プログラムをスウェーデンで最初に導入しました。国際的に認知された研究環境の事例は、材料科学、情報技術、障害者研究です。

## ■ 視覚科学の最新ツールのデモンストレーション

### (1) 視覚化センター

アンダース・イーネマン 教授

(リンショーピング大学 視覚化センター 所長)

Mr Anders Ynnerman, Professor in Scientific Visualization, Director of Visualisation Center C, Linköping University

視覚化センターは視覚化における最先端の研究および一般向けの活動を行なっている科学的な研究機関です。センターには大規模なアリーナがあり、メディアラボ、インタラクティブな展示、そして巨大なフルドームの劇場があり、一般客が入れます。この世界に入り、新たな経験をして見て



下さい。賞を得ているショー、インタラクティブな展示などがございます。コンサルティングや研究交流も歓迎します。

ヴィジュアルリゼーションセンターは研究、イノベーションそして商業的アプリケーションの間を新たにユニークな方法で橋渡しをします。

<http://visualiseringscenter.se/en>

## (2) 医療・視覚化センター

アンダース・パーソン教授（リンショーピング大学 医療・視覚化センター所長）

Mr Anders Persson, Professor in Scientific Visualization, Director of Center for Medical Image Visualisation, Linköping University

CMIV（医療用画像科学および視覚化センター）は明日の臨床にソリューションを提供する学際的なプロジェクトで最先端の研究を行っています。健康および医学研究の分野で、最先端の画像解析や視覚化手法やツールを開発するのがミッションとなっています。

## (3) ヴィジュアル・スウェーデン

アンダース・カールソン所長（ヴィジュアル・スウェーデン）

Mr Anders Carlsson, Manager of Visual Sweden

ヴィジュアル・スウェーデンは、地域のクラスターで、スウェーデンのエステルヨートランド県を中心に活動しており、視覚化やイメージの分析機関としてイノベーションや地域の発展に貢献しています。主な活動対象は、エステルヨートランド県、リンショーピング市、ノルショーピング市、リンショーピング大学、スウェーデン気象協会（SMHI）やスウェーデン法医学センター（NFC）や防衛関係センター（FOI）、そして、50以上の個人事業、中小企業から大企業などが挙げられます。創立の目的は、本センターが視覚化やイメージの分析の最先端の情報を発信すること、さらにヨーロッパの中心地域として確立するなることです。2016年から10か年のVinnovaというスウェーデンのイノベーション会社によって長期の資金を

得ています。主な資金源は、医療、工業、そして社会的なアプリケーションのイノベーションプロジェクトによる共同資金調達となっています。ヴィジュアル・スウェーデンは、視覚化とシミュレーションを優先的にした活発な専門性がある地域戦略の一部となっています。

## ■スウェーデンのアウトドア教育

アンディッシュ・シェパンスキー教授（リンショーピング大学アウトドア教育センター所長）

Mr Anders Szczepanski, the head of National Center for Outdoor Education, Linköping University

今回のプレゼンテーションでは、就学前教育と学校教育の一部がアウトドア環境で行われるべきであることを議論しています。アウトドア教育は子どものやる気を高めることができます。アウトドアの学習環境について、注目すべき初期の研究では、学習、集中力、気分、健康の維持増進に好影響をもたらすことが示されています。アウトドア教育の明確な特徴は、行為を伴う学習であることです。そのような学習は、活動を通して知識を深めることを大切にしています。さらに、自然環境は、学習のための場所と対象であると考えられています。同じように、アウトドア教育は、学習の方法と考えられます。アウトドア教育は、実際の先進的な教育学の流れの中でも、統合的で、基礎的な教育内容の前提条件となります。さらに、アウトドア教育は、教師と生徒に対して、観察と経験に基づいて学習する機会を提供してくれるのです。アウトドア教育は、教育理論全体の中の唯一の事例を提供しているわけではなく、選択肢の中の一つの事例なのです。例えば、教育学がどのようにして一つの言語表現で定義されるのでしょうか。その言語表現の一つは、学習の位置—どこで—を明確に述べることです。

しかしながら、アウトドア教育は、伝統的な教室での授業ほど必ずしも網羅的に行われるものでもありません。気づきのない教育者が管理を行うと、現実そのものが分断化されて状態で与えられることとなります。経験が特殊で単語の意味だけ

に限定して理解されることになるのです (Dahlgren & Szczepanski, 1998)。

#### エステルヨートランド県訪問団 (11名)

- 1 エリザベート・ニルソン  
エステルヨートランド県  
知事
- 2 ウルフ・カールソン  
リンショーピング大学  
物理・化学・生物学科長
- 3 アンダース・イーネマン  
リンショーピング大学  
視覚化センター所長
- 4 アンダース・パーソン  
リンショーピング大学  
医療視覚化センター所長
- 5 アンディッシュ・シェパンスキー  
リンショーピング大学  
アウトドア教育センター所長
- 6 マリア・アンゲルマルク  
リンショーピング大学  
国際交流課課長
- 7 リンダ・ストローム  
エステルヨートランド県  
秘書課長
- 8 アンダース・カールソン  
ビジュアル・スウェーデン  
部長
- 9 ウラ・カーリン・ヘルステン  
Östergötlands Ullspinneri  
代表
- 10 マリア・クリング  
Kling Kollektion 社 (design)  
部長
- 11 マリア・リンダール  
Maria Lindahl 社 (textile)  
部長

#### 訪問団の主なスケジュール

3月20日 (火)

東京発一鳴子温泉着  
山ふところの宿みやま (宿泊)

3月21日 加美町視察

(国立音楽院、バッハホール、中勇酒造、喜久しん)  
猪俣文洋氏 (加美町長) のご協力、サプライズ!  
スウェーデン教育セミナー 2018 in 仙台 (勝山館)  
<http://web.mgu.ac.jp/event/3096.html>

ピクトリア・フォシュルンド=ベラス公使参事官  
からのメッセージ  
リンショーピング大学の教育研究  
アウトドア教育、ヴィジュアルリゼーション (情報の  
視覚化技術)

3月22日

川端章好氏 (宮城県副知事) 表敬訪問  
郡和子氏 (仙台市長) 表敬訪問  
幼保連携型認定こども園「森のこども園」視察  
E.ニルソン知事 公開講演会「スウェーデンの女  
性活躍と課題」  
<http://web.mgu.ac.jp/event/3111.html>  
千年希望の丘 (記念植樹) 池田和浩・水田恵三  
先生 (尚綱学院大学)、菊地岩沼市長  
鍾景閣 (箆筒料理)

3月23日 仙台空港発

以上